

はあと +♥ Heart

～文化活動発表会～

9月 29日（金）に、文化活動発表会が行われました。

給食委員会では、前期で取り組んだことを、ぜひ学校全体に知って欲しいと思い、当日の発表と壁新聞作りの両方で参加することになりました。

一学期の給食最後の日に実施した「リサイクルを考えよう」と、SDGs週間にあわせて考えた「SDGs献立」について発表することにしました。

『リサイクルを考えよう』

今年からストローレスパックになって変わったことや調理員さんに増えた作業のことなどを質問し、実際に牛乳パックの洗浄体験をおこなったことで自分達で感じたことを発表しました。

その時に、牛乳パックを洗浄することによって増えた水道代を計算しました。

1日あたり

1200リットルの水、お金に計算すると333円

増加していました。

これを、1年間で計算すると

211,978リットルの水、お金に計算すると57,571円

増加していました。

ストローレスパックになった1番の理由が、リサイクルされることです。

綺麗に洗って乾燥された牛乳パックは、リサイクルしてくれる会社に運ばれて、トイレットペーパーにリサイクルされます。

牛乳パック 30個

→ トイレットペーパー 1個

1年間では



4, 265個の

**トイレットペーパー
に変身します！**

～食感のオノマトペ～

1年生の国語の教科書に、「食感のオノマトペ」という単元があります。

オノマトペとは、擬音語や擬態語の総称です。

「しゃきしゃき」「ぱりぱり」「しっとり」

といった言葉です。



オノマトペを使うと、よりリアルに相手に伝えることができるという特徴があり、日本語はその数が非常に多く、特に食感に関するものは300語以上にも及ぶといわれています。

そこで、一昨年度から、国語科と食育がコラボして、「食感のオノマトペ」という単元を一緒に勉強することになりました。

まず、9月6日（水）に給食で「わらび餅」が登場しました。

このわらび餅を食べた後、オノマトペを使用して食感をあらわしました。



今の2・3年生は、昨年度同じ授業を受けているので、わらび餅が登場した日には、たくさんの方が、「先生、授業覚えてるで」「わらび餅、懐かしかったわ」「美味しかったよ」などなど、声をかけてくれました。

そして、授業当日です。

4人で班になり、わらび餅にぴったりのオノマトペを話しあいました。

クラスメートの表現を聞きながら、みんなで楽しそうに話しています。

各班で選んだオノマトペを発表しながら、次はいろいろな食材の食感をみんなで考えました。中には、食べたことがない人もいる食材もあったので、その人達に伝えるように・・・と、みんな色んな楽しい表現を考えてくれました。



同じ食べ物でも、好きな人と嫌いな人では、使うオノマトペも違います。

好きな人は、美味しいそうな表現で、嫌いな人は、ちょっと美味しくなさそうな表現が使われていました。

それぞれ苦手な食感もあるようで、みんなの意見を聞いていると、本当に楽しかったです。

その後、給食の献立を、オノマトペを使って考えました。楽しい献立名は、10月の献立から登場します。

今回は、身近な存在である食べ物を使って表現したので、みんなが授業に参加しやすかったようで、表現の言葉を増やしたり、友達の意見を聞いて考えたり、相手に伝わりやすい表現方法を考えたりと、世界が広がっていけば嬉しいなと思いました。